

飯山市の動き 平成18年1月～12月

- 1月・2月 ● 12月から降り続いた大雪に、家屋の倒壊、除排雪中の負傷・死亡事故も発生。自衛隊が派遣され、緊急危険排除作業を実施。市外からのボランティア等も除排雪作業を行う。また飯山市に災害救助法が適用
- 2月3日～7日 ● 秋田県鹿角市で行われたインターハイで飯山南高校スキー部女子が総合優勝
- 2月11日・12日 ● 豪雪に一時は開催が危ぶまれた、第24回いいやま雪まつり開催
- 3月 ● 行政のスリム化、協働するまちづくりの推進、人口の維持・増加を柱とした飯山市自立計画を策定
- 3月31日 ● 飯山駅周辺土地区画整理事業の事業計画が認可
- 4月 ● 全国初の森林セラピー基地の1つとして飯山市が認定を受ける
- 5月3日～5日 ● 第23回いいやま菜の花まつり開催
- 5月23日 ● 工事が進む飯山トンネルの入口部が貫通、また同日、飯山駅前に駅周辺整備の情報発信拠点「飯山まちづくり会所」がオープン
- 6月 ● 未就学児の子育てを行っている世帯の経済的負担の軽減と、市内商店街活性化を目的として、子育ておうえん券を対象世帯に交付
- 7月 ● 停滞する梅雨前線の影響で大雨による被害が全国的に発生。飯山市でも千曲川の水位が過去二番目の高水位を記録するなど、住民や消防団などが対応に追われた
- 7月29日 ● 道の駅「花の駅 千曲川」で道の駅きつぷを発売
- 7月30日 ● 北信消防協会ポンプ操法大会で優勝した消防団第7分団第1部（常盤地区）が王滝村で開催の県大会へ出場。
- 8月 ● いいやま灯籠まつり（8月12日）、千曲川河畔納涼花火大会（同14日）開催
- 8月23日 ● 市民の手づくりで進められていた飯山市ふるさと館の壁画が完成
- 9月14日 ● 木内正勝前市長が退任
- 9月15日 ● 石田正人新市長が就任
- 10月2日 ● 瑞穂地区の旧瑞穂保育園・旧南瑞保育園が統合し、「瑞穂保育園」が開園
- 秋 ● クマが多数出没。安全確保のため瑞穂地区・岡山地区の児童生徒の一部がバスにより登下校を行う
- 11月1日 ● 市役所の組織を改革。定住対策の推進に「いいやま住んでみません課」を新設
- 12月 ● 市議会12月定例会開会。11月の選挙で選ばれた議員での新体制がスタート



△8月12日 柔らかな光が商店街を灯した「いいやま灯籠まつり」



△9月14日 木内前市長が退任



④長野県消防協会ポンプ操法大会に第7分団が出場



⑤いいやま菜の花まつりには期間中3日間で約3万人が来場



⑥注意を呼びかけるチラシも発行



△瑞穂地区では文化祭にあわせクマについての学習会を開催。また森の家でもシンポジウムが開催されるなど市民の関心が高まった

クマが多数出没

全国的にクマが多く出没した平成18年。市内でも各地でツキノワグマが民家近くまで出没し、瑞穂・岡山地区では、10月より児童・生徒の安全のため、登下校時のバス等による送迎が実施されたり、広報車や防災無線などによる注意の呼びかけも連日行われました。

民家近くまでの出没が増えた原因として、藪や林の下草刈りなど里山の整備があまりされなくなったこと、また未利用の栗や柿の木が放置されていることなども考えられています。生活の変化により私たち人間が忘れてしまったことを、もう一度考え直すきっかけにもなったのではないのでしょうか。



平成18年を振り返って
「いいやま」この1年

大雪の中、幕を開けた平成18年。雪の片付けなどに追われ、市民にも疲労から暗いムードが漂っていた時に飛び込んできた、飯山市への自衛隊災害派遣のニュースは私たちに元気づけてくれました。

旅産業の重要な骨格を成す「森林セラピー」では飯山市が森林セラピー基地として認可。来年のグランドオープンに向け本格的に動き出しました。

北陸新幹線飯山駅開業に向けては、区画整理の事業認可を受け、駅周辺整備が本格的にスタート。また飯山トンネルの入口部貫通など、新幹線工事も大きく進められました。

平成19年も引き続き諸課題に取り組み、将来に夢の描ける、自立し発展する飯山市を目指します。



新市長就任
9月15日、第7代飯山市長として石田市長が初登庁



平成18年7月豪雨
停滞する梅雨前線がもたらした豪雨により、千曲川の水位は過去2番目の高水位9.75mを記録



平成18年豪雪
12月から降り続いた雪は1月になっても降り続き、家屋の倒壊、死傷者の発生など多くの被害が出た

⑦新幹線駅周辺整備部の現地事務所、また新幹線・まちづくりの情報発信の拠点として、「まちづくり会所」が飯山駅前にオープン



⑧全国初の森林セラピー基地の1つとして飯山市が認定。来年度のグランドオープンに向け、準備が進められた



⑨1月7日～11日には、自衛隊による幹線道路や、要援護者世帯の除排雪作業が行われた

⑩秋田県鹿角市で行われたインターハイで飯山南高校スキー部女子が総合優勝。昨年に続き2連覇を成し遂げた

大雪の中、幕を開けた平成18年。
雪が解けると
新しい飯山の姿が見えてきた。